

緩和ケア研修会の目的

- **がん診療に携わる医師が緩和ケアについての基本的な知識を習得する**
- **治療の初期段階から緩和ケアが提供されるようにする**

緩和ケア研修会の開催

- **「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に沿って緩和ケア研修会を企画・運営する**
- **研修会の内容は「緩和ケア研修会標準プログラム」に準拠している必要がある**

プログラムの要点

- 研修時間の合計: 720分以上
- 参加者主体の体験型研修(ワークショップ)が含まれる
- がん性疼痛のワークショップ(事例検討+ロールプレイ): 180分以上
- コミュニケーションのロールプレイ: 90分以上
- プレテストやアイス・ブレイキングも必要

PEACE

Palliative care **E**mphasis program on
symptom management and **A**ssessment
for **C**ontinuous medical **E**ducation

PEACE緩和ケア研修会

- 内容は医師会のガイドブックに準じる
- 対象は「がん診療に携わる全ての医師」
- 基本的な緩和ケアの技術の習得が目標であり、最低限必要なことを伝え、症状緩和が困難な時には専門(2次)緩和ケアへのコンサルテーションを推奨
- 内容はWebで公開されている

<http://www.jspm-peace.jp/>

プログラム(一般型研修会の例)

- 1日目
 - 緩和ケア概論
 - がん性疼痛の評価と治療
 - がん性疼痛事例検討(SGD)
 - オピオイドを開始するとき(ロールプレイ)
- 2日目
 - 呼吸器症状・消化器症状の評価と治療
 - 精神症状の評価と治療
 - がん治療におけるコミュニケーション(ロールプレイ)
 - 療養の場の選択と地域連携

開催指針を遵守して行うために

- 緩和ケア研修会開催の手引きが出されている
- 都道府県、拠点病院に配布済み
- CDを含めダウンロード可能

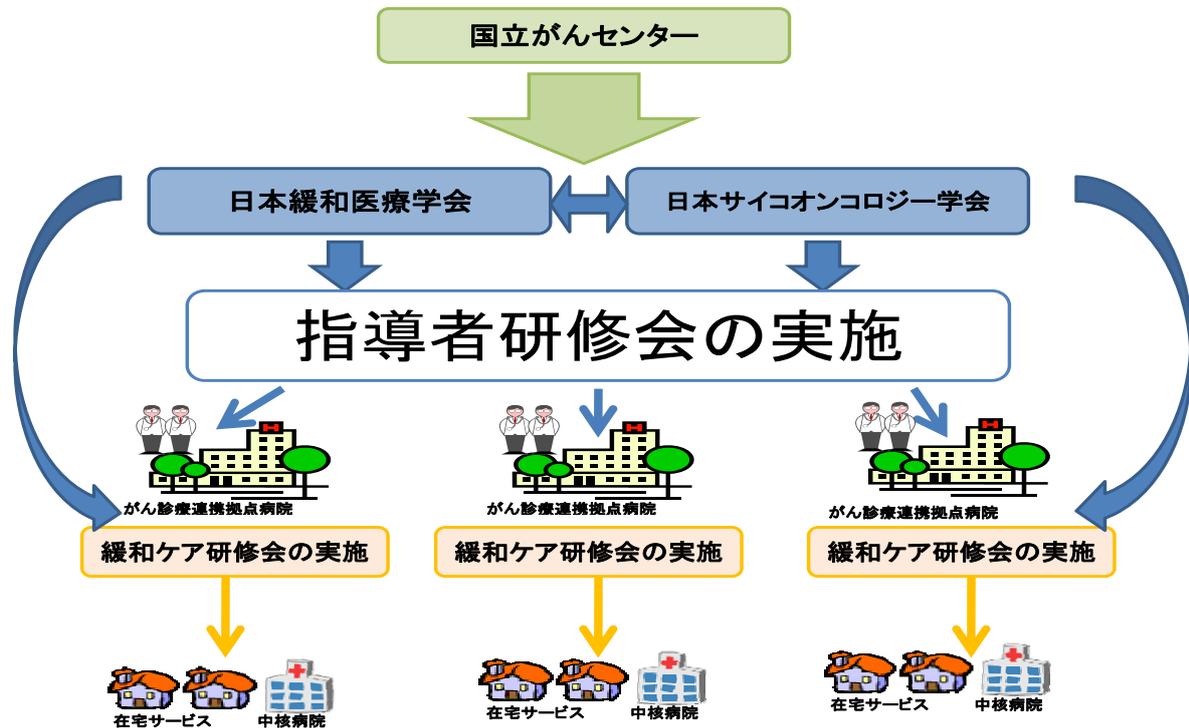


<http://kanwaedu.umin.jp/handbk/index.html>

研修会成功のコツ

- 各拠点病院、都道府県がん対策担当、研修会指導者が緊密に連絡を取り合う
- 都道府県が音頭を取り、県内でのネットワーク作りが大切

研修会の構造



指導医研修会

- Train the trainer for spreading
- 2009年5月時点で日本緩和医療学会主催で計4回、国立がんセンター主催で計3回終了、修了者605名
- プログラム：**成人学習理論に基づく構成**
 - 緩和ケア : 2泊3日合宿形式
 - 精神腫瘍学 : 1泊2日合宿形式

円滑な研修会の実施のために

- 指導者研修会への参加者派遣をお願いします
- 特に精神腫瘍学の指導者を募集中です